

なぜ読み聞かせが大事なのか

❖なぜ読み聞かせが大事だと思いますか？

学力（学ぶ力）の基礎になるから…読解力はすべての科目に通じます。

語彙力は自己表現力に繋がります。表現力は生き方に繋がります。

そういう学力をつけるための最初の入口が、絵本の読み聞かせと私は思います。

❖読み聞かせするときに大切にしていることはありますか？（時間、分野、回数など）

子どもが望むものを、望むだけ読んであげる…親の意図よりも、子どものも満足度が大切。

子どもが何を得て、どう感じるかは親にはわからないし、親が決めることではないですよ。

❖読解力とは？ 「理解」の力と「音読」の力で客観的に知ることができる

（想像力）も（コミュニケーション）も大切。シンプルに物語を楽しむことも大切。

でも"読解力を育てる"ためにはそれだけでは不十分。

大人からの効果的な（問いかけ）が必要です。

乳幼児期の特徴を最大限に活かそう！

大事なのは「習慣化」

❖乳児期（言葉が出てくる前の時期）

言葉を言葉の通りに、丁寧に、はっきりと読む

言葉の意味を表情や声色でも伝える

❖幼児期（言葉が出るようになってから～小学校入学前）

Point1 物語が「単純明快」…（設定）（事件）（オチ）

Point2 「繰り返し」が大好き…（イチ読み聞かせ イチ問いかけ）

Point3 自分の「考え」をいう機会を作る…（根拠）と（理由）を話させる



物語文の構成と必須の問いかけ

❖文章は大きく分けて2種類あります

- ・ 説明文…事実に基づいている。書き手は「 **筆者** 」。
- ・ 物語文…創作したお話。書き手は「 **作者** 」。

未就学児が読む本は物語文が多いので、今回は物語文の構成を紹介します。

お子さんが大きくなったら、説明文の読み方についての話も、ぜひ聞きに来てください。

❖物語文の構成と内容確認

子ども向けの絵本（物語）は、以下の3つの部分で構成されています（もちろん例外はあります）。

この3つのポイントを押さえることで、「問いかけ」を考えやすくなります。

【設定】 物語の設定と主人公の気持ちを確認

いつ、どこで、だれが、だれと、何をした？

主人公はだれ？ 主人公はどんな気持ち？

【事件】 物語の軸となる出来事の確認

なにがあった？ どうなった？

【オチ】 事件後、主人公の気持ちはどう変化したか

最後、主人公はどんな気持ちになった？

事件前後の
(**気持ちの変化**)
を読み取ることが
物語文読解の要！



これに対し (**経験**) や
(**考え**) を展開するのが
読書感想文

これらの問いかけには (**正解**) があります。 (**根拠**) まで聞くことが大事です。

❖感想と親子の対話

どこがおもしろかった？もし主人公だったらどんな気持ち？どうする？なんで？

これらの問いかけには (**正解**) がありません。

(**理由**) まで聞くことが大事です。

